

第7回リスクコミュニケーション講演会



ししど ふみお 氏
宍戸 文男 氏

東通村は、安全性の確保を大前提として、国策である原子力政策に協力するとともに、原子力との共生による村づくりを進めています。

一方、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、原子力災害が発生した場合における対応や体制なども大きく変更されるとともに、さらなる検討が進められています。

原子力災害が発生した場合には、国・青森県・東通村を含めた防災関係機関が連携し対応することとなりますが、村民の皆さんにも、村などからの指示に従い、冷静に行動していただく必要があることから、村では、様々な対応をしていくこととしています。

その一環として、福島県立医科大学教授として、震災以降福島県の放射線調査に携わった立場から、「福島県県民健康管理調査（子どもの甲状腺検査他）」等の客観的データに基づいた福島の現状など、放射線による健康影響等に幅広く深い知識をお持ちの「宍戸 文男 氏」をお招きし、ご講演していただくこととしました。

どなたでも参加いただけますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

◎演 題：『放射線の健康影響について』

◎講 師：東北放射線科学センター 理事長
福島県立医科大学 名誉教授 ししど ふみお 宍戸 文男 氏

◎主 催：東通村

◎協 賛：東北電力(株)東通原子力発電所

講 師 略 歴

東北大学大学院医学研究科博士課程修了。仙台厚生病院放射線科診療医、放射線医学総合研究所臨床研究部研究員、秋田県立脳血管研究センター放射線科主任研究員、福島県立医科大学放射線医学講座教授等を経て、現職。

その他、福島画像診断支援センター理事、福島市健康管理検討会委員、福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会専門委員、福島県安全で安心な県づくり推進会議委員等を務める。

日 時：令和5年11月25日(土) 13:30~15:00
会 場：東通村防災センター（東通消防署）1階会議室

※駐車場は、消防署向側をご利用ください。

【参加方法】

参加希望者は、次の連絡先に、電話、FAX、メール等で、氏名・地区名・連絡先（自宅 TEL 等）を添えてお申込みください。

※申込者多数の場合は、会場の都合等によりお断りさせていただくことがあります。

【問い合わせ・連絡先】

東通村役場 原子力対策課 電 話：33-2268 FAX：27-2501
メールアドレス：gentai@vill.higashidoori.lg.jp